

国語 文学部、教育学部、経済学部

□ 現代文

問一 a ベンギ（ビンギ） b チケン c 生涯 d 醜 e イロリ f カイ g 焦 h 膨大（彪大）

問二 A キ B ア C イ D オ

問三 自分の外部に求めた意味あるものが得られずに感じる空虚さ。（二八字）
自分の内部に価値や意味が見いだせないために感じる空虚さ。（二八字）

問四 自分が一体感や依存心を強く抱いていた対象を喪失し、外的な「むなしさ」を感じたことによって、自分が深く傷つくとともに自分自身も失われたように感じて、内的な「むなしさ」が生じてしまう。（九〇字）

問五 人間関係を築いていくはずの言葉が相手に伝わらず、自身と他者との関係性が断たれてしまうと、自分には価値がないと感じられるようになるから。（六七字）

問六 現実の場で言葉が伝わらないむなしさを回避しようと、SNSにおいて刺激的な記号を拡散し相手の反応をより多く引き出そうとすること、内面の裏付けのない無意味な言葉の氾濫を招いているというむなししい状況。（九八字）

問七 ア・ウ（順不同）

古文

問一 「当たる」はラ行四段活用動詞「当たる」の終止形、「べき」は当然の助動詞「べし」の連体形、「に」は断定の助動詞「なり」の連用形、「や」は疑問の係助詞、「あら」はラ行変格活用動詞「あり」の未然形、「む」は推量の助動詞「む」の連体形で「や」の結びの語になっている。

問二 (ア) 具行は、鎌倉幕府討伐に失敗したことを残念に思うなど、あれこれと心は乱れるけれど、平然としたふりをして、我が身がこの先どうなるかについて気にもとめない様子である。

(イ) せめて処刑されるその時に心を乱すことだけでもないならば、私はきっと極楽往生することができよう、

(ウ) あなたの出家を許したことが鎌倉幕府の耳に入った場合かどうかと思いますが、どれほどの問題があらうか、いや、どれほどのこともないだろう。

問三 今まで生きながらえても、私は結局むなしく死んでしまうのだ。初霜が降りる所もわからないように、我が身がどうなっていくのかわからないこの世の中で過ごすことだなあ。

問四 具行は、「自分の命が終わることは覚悟した。それにしても鎌倉幕府の将来は見たいものだ」と詠んだが、その歌に、処刑されるこの期に及んでも幕府の滅亡を願っている気持ちが含まれている点。

問五 (a) 『栄花物語』 (b) 『大鏡』 (c) 『水鏡』

三 漢文

問一 a いへども（いえども） b すなはち（すなわち） c あへて（あえて）

問二 昔の名産地の製法を模倣して磁器を作り、二年間地中に埋めて古めかしく加工し、貴人の目を欺いて高値で売りつけ、暴利を得た。

問三 以て真と為さざるは莫きなり。（以て真と為さざる莫し。）

問四 名店として高値でたばこを販売し、売り切れると他店の商品に自店の印をつけて自店の商品と偽り、客の目を欺いて高値で販売した。

問五 人が重視するのは名称だけである。その物の内実を見抜くことができる者がいるわけではない。

問六 学者が、本当に聖人の文章が高尚でそのうえ優れていることを理解したならば、必然的に經典の偽物が本物かどうかの判断を誤らせることはできなくなる。

問七 世の人々が物事の表面にとらわれて内実を評価できていないのと同様に、世の学者も儒教の經典と聞くと聖人が書いたものと妄信して内容を検討しようとしなない。しかし儒教の經典というだけで尊重するのではなく、聖人が經典に込めた真意を追究すべきである。聖人の文章の素晴らしさが理解できれば偽物に惑わされることはない。（二五〇字）